

飯館村を形づくる個性豊かな
20行政区を連載で紹介します

いいたて20行政区 vol.5 5区 小宮行政区

飯館村で最も広い面積を持つ小宮行政区。コミュニティセンターや簡易郵便局がある中心地の他、野手神、沿平、山辺沢、萱刈庭などの地区があり、それぞれに美しい里山の風景が広がっています。県道31号線とその支線が、各地区を結んでいます。

自然が豊かな地域で、国有林の払い下げが行われていた昭和期には林業が発達し、薪や炭の生産が盛んに行われました。また、山あいの小さな水田に至るまで、までに農業が営まれ、米・野菜・花・タバコなどが栽培されていました。野手神地区の名峰「野手上山」は、遊歩道や登山道が整備され、「うつくしま百名山」にも選ばれています。美しい森や山野草との出会いを楽しみに、遠方からも多くの登山客が訪れ、地域の人も親しまれました。

野手神山神社の参道入口で毎年11月に催されていた祭り。餅つきや芸能の披露などでにぎわいました。

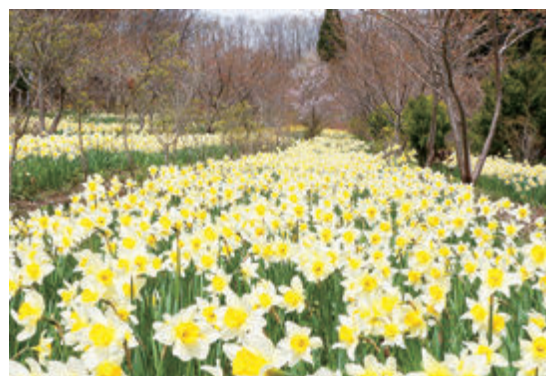


立村50周年に合わせ登山家の故・田部井淳子さんと野手上山を歩くイベントが開催されました。(平成18年)



小宮民俗芸能保存会による「小宮の田植え踊り」。(令和7年)

花仙人こと大久保金一さんの「マキバノハナソノ」。(令和8年)



小宮行政区(5区)

区民数273人(令和8年8月1日現在/住基人口)

自然豊かで、農業や林業が盛んな地域でした。かつては商店も4軒ほどあったと記憶しています。震災で避難をしましたが、私は村の自宅も建て直しました。何も気を遣うことのない村の暮らしは、都会にはないよさがあると改めて感じています。区内の農地は、山あいの小さな区画は手付かずの所もありますが、道沿いの大きな区画は営農を再開しています。また、区で県道・村道の草刈りを行っています。若い人を含め、毎回約50人程が出て来ています。行政区の懇親会にも多くの人々が参加をして、皆さんの協力に感謝をしています。



高橋 正一 区長



平成

全村避難に伴い福島市飯野町に旧工場を改修した仮設の飯館中学校を開校。(平成24年)



令和

義務教育学校いいたて希望の里学園を開校。写真は初めての入学式。(令和2年)

村立学校の今と昔

さまざまな場所
や暮らしの変化
を見てみよう。

いいたて 今昔物語

村制施行
70周年



昭和

保護者の協力により白石小学校の裏山にアスレチックコースが登場。(昭和30年)



平成

「楽しい学校」をコンセプトに設計された飯樋小学校の新校舎が完成。(平成16年)

子どもが大勢いた昭和前期、村内には本校・分校を合わせて、小学校が11校、中学校が4校ありました。子どもの数は時代と共に減少し、学校は統合が進みました。昭和63年には草野中学校と飯樋中学校を統合した飯館中学校が村で唯一の中学校となり、生徒は村内全域からスクールバスで通学するようになりました。平成23年には、東日本大震災と原発事故により、当時の3小学校(草野・飯樋・白石小学校)と飯館中学校も避難。川俣町の学校施設を間借りした後、翌平成24年に仮設校舎が開校しました。非常に困難な時期でしたが、その環境さえも学びの糧とした先生方の熱意ある指導、保護者の皆さんの協力により、避難の中でも充実した教育が行われました。平成30年に村へ戻った小中学校4校は、1つの校舎で学校生活を送ることとなり、令和2年には統合され、9年制の義務教育学校、いいたて希望の里学園が誕生しました。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」
からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介します

『ゼロからの読書教室』



読書猿著
NHK出版

「活字を読むと眠くなる」「子どもが本を読まない」と悩んでいませんか? この本は、読書が苦手な人でも読書を気軽に楽しいものに変えてくれる1冊です。目からウロコのテクニックをどうぞ!

また、9月21日は、「世界アルツハイマーデー」です。認知症は誰にとっても身近なものです。大切なのは、正しい知識と温かい見守り。交流センターでは、認知症についての本を掲示しておりますので、この機会に認知症について理解を深めましょう。

本の貸し出しご利用ください

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072